

投資環境を巡る不確実性が高まる中、中南米の投資機会を検証する

本稿は、PGIM フィクスト・インカムの中南米担当リード・エコノミストである Francisco Campos-Ortiz、およびエマージング債券のポートフォリオ・マネージャーである Zulfi Ali が 3 月 30 日に執筆したブログ “Latin America : Churning Waters Highlight an Imperfect Gem” の内容を PGIM ジャパン株式会社が要約したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

<要旨>

- インフレ高進と世界経済の成長鈍化が見込まれる一方、足元では金融・財政政策による経済への後押しが弱まってゆく状況にある。加えて、ロシア・ウクライナ紛争によって、投資環境を巡る不確実性が更に高まっている。
- こうした状況の中でも、中南米地域はロシア、ウクライナ、ベラルーシとの貿易取引が限定的であり、今回の紛争による直接的な影響を受けにくいことから、同地域のパフォーマンスは年初来でアウトパフォームしている。
- エネルギーや食料品価格の高騰によってインフレが更に強まり、中南米では従来の想定以上に金融引き締めが余儀なくされる可能性があるが、相対的に高水準の政策金利が魅力的なキャリー獲得機会を提供しており、グローバル投資家の関心を集める可能性がある。
- 中南米主要国では輸出に占めるコモディティの割合が高いことから、エネルギーや食料品価格の高騰は同地域にとって追い風となる可能性があるが、恩恵の程度は国によって異なる。コロンビア・エクアドルは原油価格高騰による恩恵を受けるが、チリは金属や食料品価格高騰による恩恵が、原油価格高騰によって相殺される。メキシコは、主要輸出品が工業製品であり、コモディティ価格上昇の影響を受けやすい。一方、貿易摩擦の激化、供給面の混乱、今般の地政学リスクを背景に、北米市場に近い国にサプライチェーン網を配置する動きが強まっており、これによりメキシコが恩恵を受ける可能性がある。ブラジルは主要輸出品が食料品および鉱石・金属であることから、コモディティ価格高騰の恩恵を受けると考えられる。
- 中南米への投資を検討するに当たっては、政治リスクについても注意を払う必要がある。例えば、チリとペルーにおいて 2021 年に左派の大統領が誕生したのに続き、2022 年にブラジルとコロンビアで実施される大統領選挙では、非正統的な政策を訴える候補者が高い支持を集めると予想されている。また、アルゼンチンやメキシコでも左派政権の下で、市場の信頼感が揺らいでいる。

データの出所(特に断りのない限り) : PGIM フィクスト・インカム、2022 年 3 月 30 日現在。

当レポートは、金融機関、年金基金等の機関投資家およびコンサルタントの方々を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した“Latin America : Churning Waters Highlight an Imperfect Gem”をPGIM ジャパン株式会社が要約したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SEC の登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料で言及されている個別銘柄は例示のみを目的とするものであり、特定の個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したのですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会
PGIMJ89394